

地方自治体における 青少年エイズ対策/教育ガイドライン

—若者の性行動の現状と
WYSHプロジェクトの経験—



Well-being of Youth in Social Happiness

厚生労働省「HIV感染症の動向と予防モデルの開発普及に関する社会疫学的研究班」
若者予防グループ(WYSHプロジェクト)

代表 木原雅子

男性同性間のHIV感染対策に 関するガイドライン

地方自治体における男性同性間のHIV感染対策への対応と
コミュニティセンターの役割と機能

(2005年度版)

厚生労働省エイズ対策研究事業
男性同性間のHIV感染対策とその評価に関する研究

主任研究者 市川 誠一

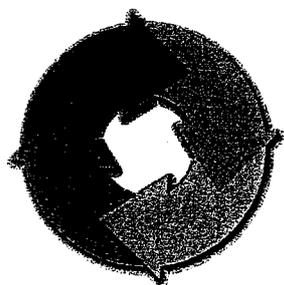
平成18年3月

医療相談員のための 外国籍HIV陽性者 療養支援ハンドブック

暫定版（平成18年3月）

NGOによる個別施策層の支援と
その評価に関する研究班

地方自治体のエイズ啓発プログラム のためのガイドライン



Socio-epidemiology and HIV Prevention

HIV感染症の動向と予防モデルの開発・普及に関する社会疫学的研究班
主任研究者：木原正博



HIV検査体制の構築に関する研究班

The Study Group on the Development of HIV Testing Systems

<http://www.hivkensa.com>

主任研究者 今井 光信 (神奈川県衛生研究所)

HIV検査相談の説明相談の事例集

平成18年3月

利用される皆様へ

この説明相談の事例集は、実際にHIV検査相談に関わっている皆様の協力を得て、説明相談事例集の作成委員会（厚生労働省科学研究補助金“HIV検査体制の構築に関する研究”）が作成したものです。現在普及しつつある即日検査等、HIV検査の説明相談の充実と質の向上のため、即日検査のガイドラインの補足テキストとしてこの事例集を役立てて頂ければ幸いです。

本事例集には、検査相談機関において、それぞれの実情に合わせ、工夫し実施している事例を示してあります。今後も説明相談の普及・進展や利用者のご意見等も反映させ、随時、改訂版を作成する予定です。

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
多剤併用療法服薬の精神的、身体的負担軽減のための研究班

HIV診療における 外来チーム医療マニュアル

第1版(平成18年3月)



主任研究者 白阪 琢磨

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
HIV/AIDS先端医療開発センター

利用される皆様へ

本マニュアルは厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 多剤併用療法服薬の精神的、身体的負担軽減のための研究(主任研究者 白阪琢磨)の一環として、HIV診療における外来チーム医療マニュアル作成プロジェクトが、これまでの研究成果に基づき作成したものです。施設によって外来を構成する職種は様々です。本マニュアルのねらいは、HIV診療に関わる様々な業務を、どの職種の仕事であると決めることではありません。各職種が専門的スキルと知識を駆使して各々の得意分野を協調しつつ、限られた人的資源の中で、真に患者のためになるよう、患者のニーズをどのように満たしていくかをチームで取り組む上での基本として利用して頂ければ幸いです。

2006年6月26日(月)14:05~14:50

平成18年度 東京都府県等エイズ対策担当課長連絡協議会

**地方自治体における
青少年エイズ対策/教育ガイドライン**

木原雅子
京都大学大学院医学研究科社会疫学分野 助教授
TEL:075-753-4350 FAX:075-753-4359
E-mail:okmasako@ph.med.kyoto-u.ac.jp



対策の方向性

科学的予防 場当たり的な対策を繰り返すのではなく、
科学的方法と根拠に基づく対策を行う

対象 (Audience) 主義 対策の対象を正確に知ることが第一ステップ。
対象の文化・価値観、知識、行動を知る。

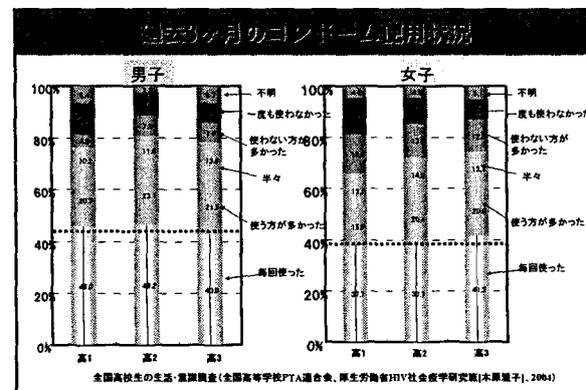
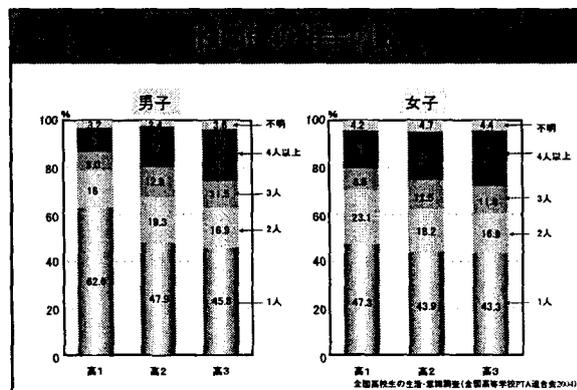
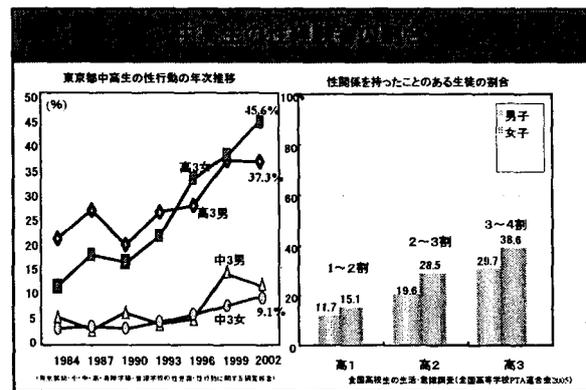
マーケティング 原理の応用 対象の行動変容を引き起こすのに最も有効な
方法を開発する。

調査・評価 対策の前後に調査・評価を行い、その結果に
よって対策を改善していく。

パートナーシップ 保健行政・学校・地域等が協力しあって対
策を推進する。

**日本の青少年の現状
(性行動)**

WYSHプロジェクト

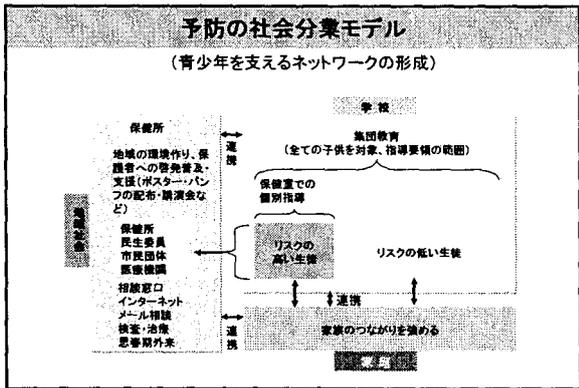
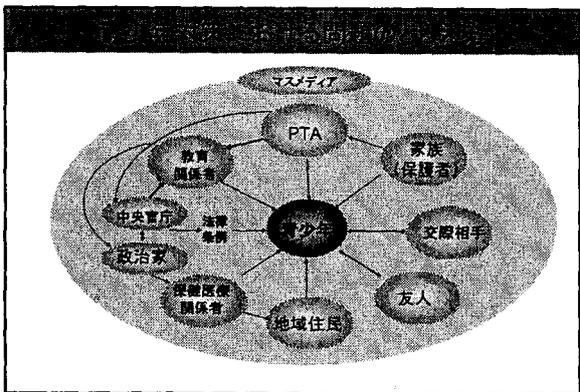


性的ネットワークの概念からみた HIV流行の抑制に必要なアプローチ

総合的アプローチ

- ① コンドーム使用の促進
- ② 性的パートナー数の減少
- ③ 初交までの期間の遅延
- ④ STI検査・治療の促進

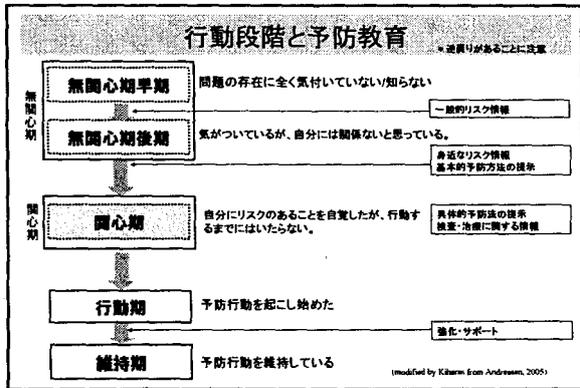
WVSHプロジェクト

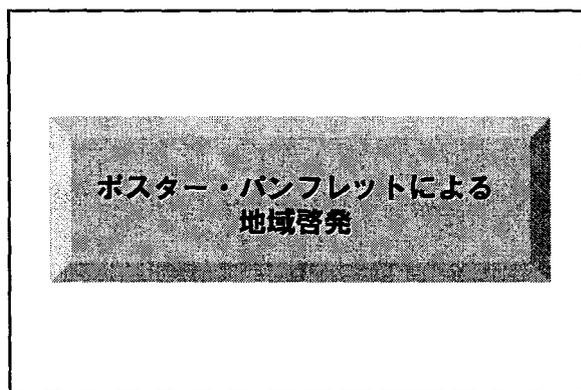
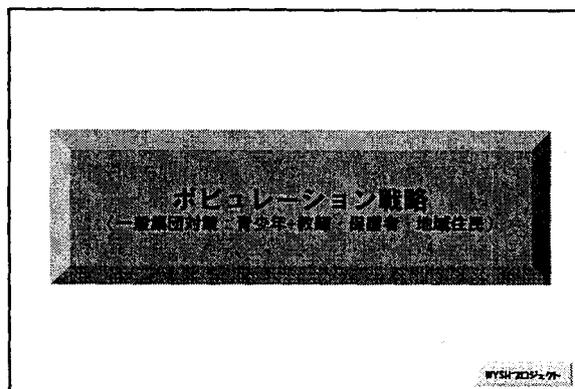
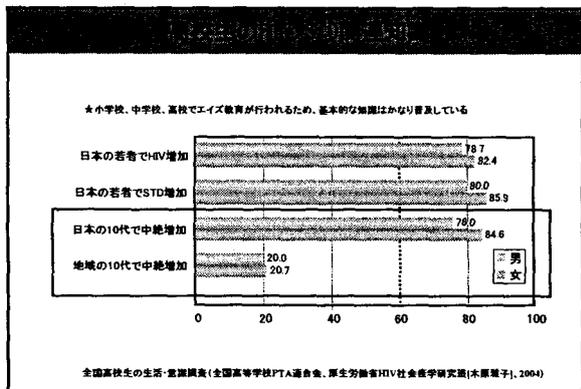


社会科学理論の活用

社会疫学で利用する理論の分類

行動理論	個人レベル	1. Health Belief Model(健康信念モデル)
	個人と社会	2. Theory of Reasoned Action(合理的行動理論) Theory of Planned Action(計画的行動理論)
		3. Stage of Change Model(行動段階理論) Trans theoretical Model(汎理論モデル)
	4. Precaution Adoption Process Model(警告受容プロセスモデル)	
コミュニケーション関係理論	5. Social Learning Theory(社会学習理論) Social Cognitive Theory(社会認知理論)	
	6. Ecological Model(エコロジカルモデル)	
組織の変容理論	7. Consumer Information Processing Model(消費者情報処理モデル)	
	8. Diffusions of Innovations Theory(情報拡散理論)	
	9. Stage Theory of Organizational Change(組織変化する段階モデル)	





メッセージの条件と留意点

行動変容を促すための、フレーズ、言葉、画像、図表、イラスト、色、音、フォーマット

<メッセージの備えるべき条件> *全てが同時に備えられるとは限らない

- 対象にふさわしいもの
- 理解(プロセス)しやすいもの(明快で簡潔) → CIPM (読者理解程度モデル)
- 不快感、反感を買わないもの
- 魅力的なもの
- 誤解されないもの
- 身近な問題として受け止められやすいもの → PAMP (読者理解プロセスモデル)

<メッセージ開発上の留意点>

- 対象者中心主義に基づいて創造する。対象者の参加は不可欠
- メッセージを対象全体で統一し、矛盾がないようにする



ポスター・パンフのデザインと大きさ

本当! 長期間! 10代 本心に、そう思いませんか? 本心に、そう思いませんか? 本心は、本心の考え方を4割、10代の地域感も増えています。1代は1年間に706人...

ですが、6人...

本当のことを 知ってください

「本当のことを知ってください」というテーマで、健康増進の重要性や、具体的な行動指針を伝えるためのポスターです。

このポスターには、以下の情報が含まれています：

- 健康増進の重要性に関する説明文
- 具体的な行動指針（例：禁煙、節酒、適度な運動）
- 統計データやグラフによる健康状態の比較
- WYSHプロジェクトのロゴと連絡先

